

霞ヶ関の政策現場の 最前線から

池田 陽子氏

経済産業省 経済産業政策局 競争環境整備室長

日時 2026年 6月20日(土)
14:30 ~ 16:00 (開場 14:00)

場所 鷗友学園ホール

入場無料

ゲスト

鷗友学園評議員 新原 浩朗氏



東京大学経済学部卒業、ミシガン大学経済学部博士課程に留学。ハーバード大学経済学部客員研究員、ハーバード・ビジネス・スクール（経営大学院）エグゼクティブ・フェローを歴任。

1984年、通商産業省入省。内閣府政策統括官（経済財政運営担当）、経済産業省経済産業政策局長などを経て、内閣審議官（事務次官級）を最後に、2024年9月30日退官。

キャノングローバル戦略研究所研究主幹、NTT データ経営研究所特別顧問、スタートアップ企業の社外取締役などを兼務。早稲田大学ビジネススクール客員教授。カリフォルニア大学サンディエゴ校グローバルリーダーシップフェローなど。

専門分野は、組織の経済学、創造性とイノベーション。



長野県出身。2007年東京大学卒業後、経済産業省に入省。専門分野は、創造性とイノベーション、ルール形成、グローバルガバナンス。内閣官房では政府全体のスタートアップ政策を統括。

近著に『官民共創のイノベーション規制のサンドボックスの挑戦とその先』。これまで携わったスタートアップ政策、対GAFAのデジタルプラットフォーム規制、出版の実績を評価され、官僚として唯一、Forbes JAPAN「Women in Tech」に選出。

米国・ニューヨーク大学ロースクール修了、オランダ・マーストリヒト大学大学院修了（イノベーション政策専攻）。

私は、経済産業省の官僚です。アニメ産業の振興から経済安全保障への対応まで、制度やルールづくりを通じてよりよい社会をつくる仕事をしています。

大学生になるまでは、山に囲まれた長野県でのんびり育ちました。中高時代は陸上部の短距離選手（県大会2位）、東大ではカオスな雰囲気惹かれて弁論部に入部。そこでの偶然の出会いをきっかけに経済産業省に入省し、早20年目となりました。

当日は、内閣官房時代に「官僚の仕事は総じて楽しい」と教えてくださった新原浩朗氏と一緒に、対話形式が進められればと思います。生徒の皆さんと同じように中高生だった頃から、現在の霞ヶ関での政策づくりの日々まで、活発なご質問をお待ちしています。

